

- 問1 九州地方の農業統計において、肉用牛の飼育数が約32万頭と突出して多く、温暖な気候を活かした畜産業と、ビニールハウスなどを活用した野菜栽培を組み合わせた農業が行われている県はどこか。 (2019年 北海道公立入試 類似)
1. 大分県 2. 鹿児島県 3. 宮崎県 4. 福岡県
- 問2 九州地方の各県の産業を比較した統計資料において、豚の飼育頭数やきゅうりの生産量、製造品出荷額が一定の規模を有し、かつ「地熱発電量」が約823百万kWhと非常に多く、全国的にも上位に位置する県はどこか、名称を答えなさい。 (2024年 愛知県公立入試 類似)
1. 鹿児島県 2. 大分県 3. 福岡県 4. 宮崎県
- 問3 日本の諸地域の気候を比較したとき、那覇市の平均気温や降水量の特色について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
1. 夏と冬の気温差が非常に大きく、札幌市などの北日本の都市と同様に、冬の降水量が1年の中で最も多くなる。
2. 亜熱帯に近い気候のため、年間の降水量は日本で最も少ない部類に入る高松市よりも、すべての月において下回ることはない。
3. 年間の平均気温は福岡市などの九州地方の都市よりも低くなるが、梅雨や台風の影響で年間の降水量は非常に多い。
4. 年間を通じて気温が高く、1月と7月の平均気温の差は、内陸に位置する松本市などの都市と比べて小さい。
- 問4 九州南東部の宮崎県において、冬でも雪がほとんど降らない温暖な気候を活かし、他の地域よりも野菜の成長を早めて出荷時期をずらすことで、高い利益を得るために行われている栽培方法を何というか。 (2019年 北海道公立入試 類似)
1. 抑制栽培 2. 近郊農業 3. 有機農業 4. 促成栽培
- 問5 九州地方南部の鹿児島県や宮崎県では、火山噴出物が積み重なってできたシラス台地が広く分布しています。この地域で、稲作ではなく豚や肉用牛などの飼育を行う畜産業が盛んになった理由として、地形の性質に触れた説明として最も適切なものはどれですか。 (2020年 香川県公立入試 類似)
1. 土壌の水はけが良すぎて、水田に必要な水を保持することが難しくなったため
2. 平坦な土地がほとんど存在せず、家畜を放牧するスペースしか確保できなかったため
3. 急峻な傾斜地が多く、機械を導入した大規模な耕作が困難であったため
4. 標高が極めて高く、夏季の気温が上昇しないため稲の生育に適さなかったため
- 問6 九州地方の農業の特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2020年 福岡県公立入試 類似)
1. 宮崎県や鹿児島県では、シラス台地という火山灰由来の土地が広がっているため、農業産出額において畜産が占める割合が非常に高い。
2. シラス台地は保水力が非常に高いため、サトウキビなどの工芸作物を中心とした農業が行われている。
3. 九州南部は平野が広く水利がよいため、農業産出額のほとんどを米（稲作）が占めている。
4. シラス台地の地層は果樹栽培に最も適しているため、リンゴやブドウの産出額が全国1位となっている。
- 問7 鹿児島県や宮崎県などを中心に、肉用牛や豚、鶏などの飼育が盛んな地域が九州地方です。この地方の農業産出額における品目別割合において、最も大きな割合を占めている部門はどれですか。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
1. 畜産 2. 野菜 3. 米 4. 果実
- 問8 沖縄県の竹富町などに見られる伝統的な家屋では、家の周囲を石垣で囲み、防風林を植え、さらに屋根瓦をしっくいで固めるといった工夫が見られます。このような独自の住居様式が発達した理由として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)
1. 近隣の火山が噴火した際に、降り積もる火山灰の重みに耐えるため
2. 冬に吹く冷たくて強い季節風を遮り、屋内の温度を一定に保つため
3. 夏から秋にかけて接近・上陸する台風による強風の被害を防ぐため
4. 地震が発生した際に、振動による建物の倒壊や屋根瓦の崩落を防ぐため
- 問9 大分県で見られる火山の性質を利用した産業について、その特徴を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2025年 北海道公立入試 類似)
1. 火山灰が堆積したシラス台地の地形を活かして、大規模なダムを建設し水力発電を行っている。
2. 阿蘇山周辺のカルデラから湧き出る豊富な水を利用して、大規模な水力発電を主な電力源としている。
3. 由布院などの温泉街において、火山ガスの成分を化学工業の原料として抽出する産業が最も盛んである。
4. 別府などの豊かな温泉資源を観光に活用するとともに、地下の熱エネルギーを地熱発電に役立てている。
- 問10 日本の農業産出額の内訳において、ある県では「畜産」の割合が全体の約半分を占めており、米や果実中心の県に比べて圧倒的に高くなっています。このような特色を持つ、南九州に位置する県はどこですか。 (2019年 福島県公立入試 類似)
1. 新潟県 2. 鹿児島県 3. 愛媛県 4. 青森県
- 問11 宮崎県では、温暖な気候を利用したピーマンやきゅうりなどの園芸農業が盛んです。これらの作物の収穫時期を、他の地域よりも早めるなどの工夫を行う主な理由として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
1. 夏の強い日差しを好む熱帯性の害虫が大量発生する前に、収穫を終えるため。
2. 冬に降る大量の雪が農作物の成長を妨げるのを防ぎ、春の間にすべて収穫するため。
3. 夏から秋にかけて発生しやすい台風の被害を最小限に抑え、安定した出荷を行うため。
4. 輸入農産物が最も安くなる時期に合わせ、価格競争で有利に立つため。
- 問12 九州地方北部の福岡県から佐賀県にかけて広がり、有明海に面している広大な平野があります。この平野は九州最大の稲作地帯として知られていますが、その名称として正しいものを選びなさい。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
1. 仙台平野 2. 宮崎平野 3. 熊本平野 4. 筑紫平野
- 問13 九州地方の農業について述べた文のうち、筑紫平野で見られる農業の特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2025年 京都府公立入試 類似)
1. 阿蘇山周辺の広大な草原や斜面を利用して、肉用牛の放牧や酪農が行われている。
2. 温暖な気候を利用し、宮崎平野を中心にピーマンやきゅうりの促成栽培が行われている。
3. シラス台地特有の水はけの良さを活かして、サツマイモや茶の栽培、畜産が盛んに行われている。
4. 広大な平野部の水田を活用し、夏には米を、冬には麦などを栽培する二毛作が行われている。